

金城学院幼稚園

2026年度

# こどもニュース

6/12 発行

No. 5



## 【おしゃべり会へのご参加ありがとうございました！】

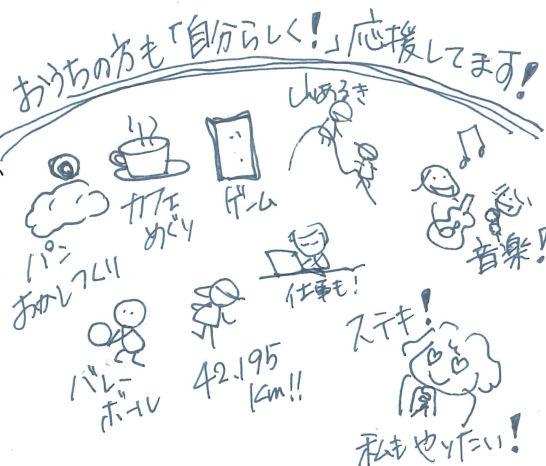
ゴールデンウィーク後から始まったクラスごとのおしゃべり会。様々なご予約がありお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました！

朝の玄関の受け入れを終え、あわてて「わかば」に行くと、どのクラスも年長さんのおうちの方々中心に上手に場を創ってくださっており、工夫して名札が用意されていたり、と温かく和やかな雰囲気始める事ができました。感謝いたします。

金城学院幼稚園ではおうちのかた同士が苗字ではなく、また「~ママ」という呼び方でもなく、お互い、その人ご自身の名前で「〇〇ちゃん」「〇〇さん」と呼び合います。小さな事ですが、それは「貴方という個人を大事に思い名前を呼ぶよ」ということ。その人の存在を丁寧に認めている事の表れだと感じられ、いつもとても素敵だなと思っています。

おしゃべり会では子どものことだけではなく自分の事も語り合ううちに、お互いに思いがけない一面を発見することもしばしば。パン好き、ゲーム好き、山好き、音楽好き、カフェめぐり、中にはバレーや「マラソンしてます!」という方々も!趣味や興味のあることに始まり、これから挑戦しようとしている事への想いを伺ったり、昨年「挑戦したい!」と話しておられた事が今年実現していたりと皆様の「生き方」が垣間見える瞬間もあり、いろいろな事を分かち合うひと時となりました。

初代園長の戸近太郎先生は「一人ひとりを大切に活かす保育をしてほしい」と望まれました。子ども達だけでなくおうちの方も一人ひとりが活かされ、「縦」の関係の中で一緒に子育てする仲間として育ちあえたらいいですね。これからもどうぞよろしく願いいたします。



## 【たくさんの恵み、いただきまーす！】



5月に入り、園庭では沢山の果樹の実りを楽しんでいます。

「ゆすらうめ」「ジューンベリー」は子ども達と収穫し、それぞれ子ども達の有志によるお店屋さんごとれたてをサービスしてくださり、いただきました。今年はゆすらうめが豊作で遊びの時間のおやつコーナーに給食のデザートに、と数回いただきました。ジューンベリーはカラスと競争でした。どんな色だと甘いのかな？子ども達はよく知っています。おうちで聞いてみてくださいね。これから夏に向けてピワ、ブルーベリーが色づきます。また梅も今年は豊作です。沢山「梅干し」できるかな。お楽しみに！

## 【年長さん、プラネタリウムへの旅】

20日の木曜日には年長さんだけで名古屋市立科学館にプラネタリウムの投影見学に行きました。にじ組、年中、年少の皆様、休園にご協力くださりありがとうございました。

名古屋市立科学館のプラネタリウムはドーム内径 35メートルで実は世界一の大きさです。限りなく本物の星空に近い映像クオリティーということで迫力満点でした。

さて、園ではこの行事で科学館見学そのものだけではなく「公共交通機関を使ってみんなで行く」ということにも大きなねらいと意味を持たせて実施しています。

園の駐車場から大森駅まで歩き、朝のラッシュの名鉄瀬戸電に乗り栄町まで。(もちろん座れません)栄町で下車したら、朝の通勤通学で大混雑の駅構内を人々の間を縫うように歩き、地下鉄東山線の改札口から階段を下がってホームまで下がります。

地下鉄に乗車したら伏見で下車、そこから白川公園の科学館まで歩きます。

フーっ、どうですか、これを読んでも「すごい！」行程でしょ。

今年は何と7~8年ぶりの「雨」で、傘をさして行くことに！心配しましたが子ども達は事前に公共の場での振る舞いについて教えてもらっているので、大きな声を出したりせず、電車の中でも他の人に雨のしずくが当たらないよう気を付けて傘を持ち、捕まるところがない友だちに「私につかまっていよいよ」等と声をかけ合っていましたよ。その姿を見て、さりげなく場所を開けてくださる乗客の方もいたりして、ラッシュの中でもたくさんの方に助けていただきました。

さて、科学館では他の幼稚園、保育園、こども園さんと一緒になります。園長としては他の園の子ども達の姿も気になるところ(笑)

今回感じたのは金城学院幼稚園の子ども達の「素敵な声のかけあい」と「自主的な判断力」でした。日頃から主体的な生活をしている子どもたち。お弁当の後片付けももちろん自分たち

できるし、お友だち同士「もうそろそろ行くよー」と声を掛け合っています。ほほえましかったのは各クラスで自然に「人数確認してくれる人」がいた事。

要所要所で自主的に指差して人数を数えている子がいたり、「せんせー、みんないるよ、いこう!」と教えてくれたりしていました。言われなくても自分たちで考えて行動していて素敵!

また 2 列にしっかりと並んで展示を見学している園も多い中、金城学院幼稚園の展示見学は「だいたい先生たちの見えるとこにいてねー」というゆるやかなもの(笑)

自分の興味のあるところに行ってもちゃんと保育者のところに戻ってきますし、ここでも「〇〇ちゃん、行くよー」と声を掛け合っています。他にもたくさんの見学者がいる中、「だいたい周りにいてねー」で見学が成立するのは、それぞれが自由に動いていながらもお互いを意識し、行動範囲を判断し、友だち同士も声をかけあっているからではないでしょうか。

さて、こうしてプラネタリウムと科学館展示を見学し帰る時間になりました。

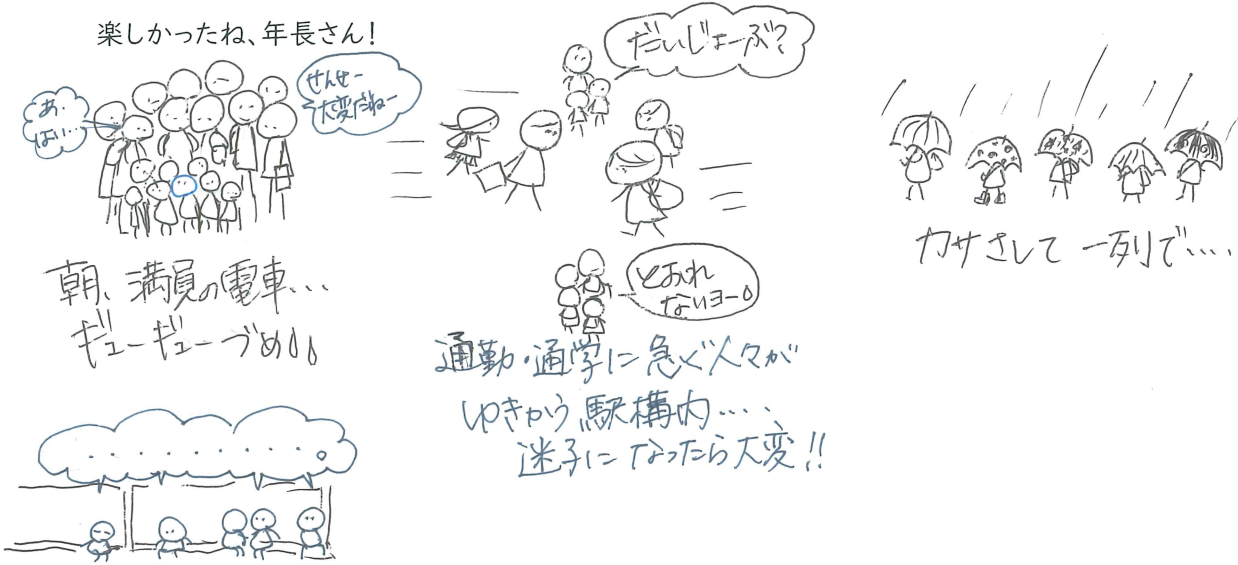
今度はもちろん、同じ行程を逆にたどって帰ります。おかげさまで帰りは雨は降らず、傘はささずに済みました。

行きと違い、帰りの瀬戸電は乗客のなかは少なく、ゆったり座りました。

が、さすがに疲れて終始無口な子ども達でした。

それでも駐車場まで誰一人疲れたからと泣いたりせず、無事に帰ってきましたよ。

楽しかったね、年長さん!



帰りの電車  
みんな無口……。

児玉 芽 



## 年中あつまりの様子

### 【おおきくなったね、ねんちゅうさん!】

あつまりの中で、計測をしました!自分で洋服を脱いで、畳んで…はもうとっても上手な年中さん♪  
「靴下を脱いだら上靴の中に入れるんでしょ!」「洋服上手に畳めるんだよ!」と自信満々な子どもたち。年少さんの時の経験がしっかり積み重ねられているんだなあと嬉しく思いました。年中さんになってどれくらい大きくなったのかを知りたい子どもも多く「何cmだった?」と聞いてくる姿もありました。心も身体もひとまわり大きくなった年中さんたちです!

### 【遊んでいろんなクラスの友達と…★】

計測の時間のときに、コーナー遊びもしました。いろんなクラスのお友達との関係も広がっています!



\*集中してぬりえ\*



\*ソフトブロックでなにつくろう\*



\*ドミノを並べて積んで・・・\*

### 【ゲームだいすき!!】

クラスでも経験しているルールのあるゲームを、年中あつまりでもやってみました♪  
ゲームのルールを、みんなで「こういうルールだったよね!」と一つひとつ確認していきました。「早くやりたい!」「ゲーム楽しみ~!」という声がたくさんあがりました。年少さんの時は、「ゲームは絶対やりたくない!」という姿だった子たちも、自分から手を挙げてオニをやりたい!と言っていたり、みんなと一緒にゲームを楽しむ姿があり、ここでも成長を感じました。

### 【新しいチームになりました♪】

活動内容によって、2チームでわかれてあつまりを行うこともあります。そのチームがこちらです!!

これから年中さんみんなで、様々な経験をしていきたいと思います♡(あゆみ)